

県トヲ新聞

第67号

発行者

富山県トラック協

富山市水橋沖188

TEL 076(479)6311

FAX076(479)6300

Please! NEXT

次回担当は・・・
吉川さん
田村さん
よろしく
お願いします

今第67号は
鈴木・田邊が
担当しました



社長 雑感 変わる世の中と変わらない自分

新型コロナウイルスの目撃の感染者数も減少して、東京都以外の道府県での発生も収まったかのように見える。しかし、世界に目を向けると決して安心できる状態ではない。その中でも、欧米では経済の停滞を危惧して、感染防止対策を緩和している。政府の発表やマスコミは日本の対策があたかも功を奏したように言っているが、比較対照するものが不明確で、自画自賛の域を脱していない。何もしないうちに、国民の我慢で収束に向かったというのが実情だろう。前回のブログで書いた通り、国民の手柄を政府に横取りされたと言える。

そんな中、ビジネスの世界は、仕事の仕方が大きく変わっている。この流れは世間で言われている通り、今後にも元に戻ることは無いだろう。言い換えれば、今までは後生大事に守り続けてきたやり方がこれからは有効とは言えないという事だ。

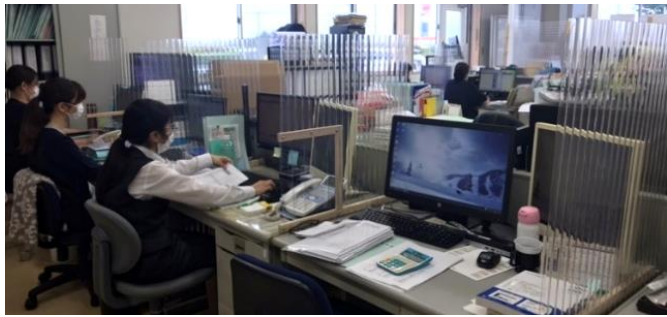
その最たるものに、リモートによる意思疎通が有る。実際に訪問しなくても、通信用のアプリを使って、顧客とのコミュニケーションが可能である。また、大会場を使って行われていた業界の勉強会等も、瞬く間にリモートが導入され運用されており、致命的な問題は一つないと言える。我々のような地方の企業は、居ながらにして会議に参加できたり、お客様と商談ができるリモートは時間効率を考えると魅力的なツールであり、この利便性を体験すると、コロナ後にまた対面型のコミュニケーションに全面的に戻るとは思えない。今後はこのツールをいかにうまく使いこなせるかが問われると思う。見せる化がキーワードになるだろう。

次に起こる変化は、デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速ではないだろうか？県トヲでも新三ヶ年経営計画で取り組もうとしているテーマではあるが、現実のものとして成果を上げていく為には何をしなければならぬのかを、早急に考えなくてはならない。仕事における受注から完了までの業務がDXによりいかに効率化できるかを検討し変えて行かなくてはならない。新たな脅威の発生や、働き方の変化によってリモートワーク等が導入されても、業務の遂行になんら支障がおこらない県トヲ版DXを実現したい。

コロナで世の中が大きく変わる中、これから訪れる様々な変化にいかに対応できるかが問われている。進化論では環境の変化に生き残るのは強いものではなく、変化に適応したものである。」と説いている。諸行無常の教えの通り、世の中は昔から変化を繰り返している。それを嘆いても仕方が無い。変える勇気をもって、一歩前に進みたい。

吉澤比佐志

デジタルトランスフォーメーション...企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

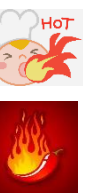


透明波トタンを加工したパーテーションが
どんどん設置されていきました。
相変わらず仕事の早い匠 笹倉師です。

本社事務所に パーテーション設置しました

本社事務所では新型コロナウイルスの飛沫感染対策として、受付場所や個人デスクに波板を加工したパーテーションが設置されました。設置は県トヲの匠、笹倉さんが行ってくださいました。あつという間に出来上がっていき、感動の一言でした。今後も気を緩めることなく、コロナ感染防止対策と業務とを両立していきます。

激辛地獄 激辛試食会



こんな状況だからこそ何か楽しいことをしたい!という事で、今回は「激辛試食会」を企画しました。企画に賛同してくれた皆と昼食時に「ベヤング獄激辛」を食べました。こちら「ご存知ですか? YOUTUBE」などで話題になっており、ものすごく危険な食べ物らしいです。ワクワクしますねー! うふふー!



これが話題の危険食品です

辛さを和らげるヨーグルト飲料も準備して、さあ実食。見た目はそんなに赤くありません。いただきますー!
口に入れて数秒で「からーい!」と大騒ぎの西尾さん、静かに辛いですね」と言いながら食べる田村さん、これは「涙目の蛇見さん、めっちゃ辛いです!」と竹内さん。もちろん私も辛い!」の一言。そんな中、ヨーグルト飲料を一口も飲まず辛いとも言わずに食べていたのは新入社員植野さん!自分では辛さに強いと思っていなかったことでしたが、みんなお手上げの中、最後まで食べられたのは植野さん一人でした。本当にすごい! 植野さんの新たな一面を発見できた瞬間でした。
辛さに自信のある方、気になる方はぜひチャレンジしてみてくださいね。(自己責任でお願いします笑) (鈴木)



竹内さんは辛そうな顔 一方 植野さんはクールに完食(お見事!)



大騒ぎの西尾さん 静かに食す田村さん 泣いている? 蛇見さん

富山国際大学 地域企業講座

六月一日(火)に富山国際大学(四年制大学)にて、「地域企業講座」の講師として授業の「コマ」を担当してきました。この授業は学生が地域社会を支える県内企業について学び、将来自分が進みたい業界や職種を考えることを目的として二年生を対象に設定されたものです。本来であれば従来通り対面式授業の予定でしたが、コロナ禍にあることからオンラインでの授業配信となりました。学生はWEB会議ツールの「ZOOM」を使用し、先生との問いかけなどには反応ボタン(👍)や(👎)で反応してくれます。対面式でない分、情報発信が一方通行になりがちなため、そういった反応を求めたりミニテストを用意したりと先生も工夫されていました。県トヲの事業内容や経営理念、仕事のやりがいなどを学生に向けて発信でき、また大学授業の現状を知る大変良い機会となりました。(鈴木)

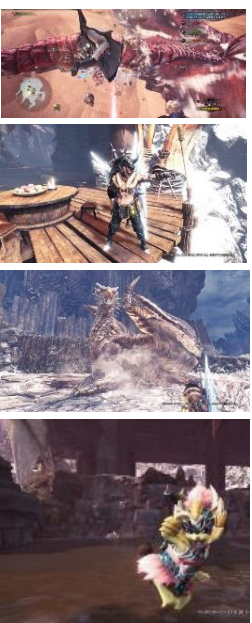


画面に向かって講義&会社紹介してきました

お家での過ごし方



三月中旬ごろからコロナの影響で外出自粛の要請、イベントの中止が相次ぎ、私自身も夏までの予定がほとんどなくなってしまいました。これをきっかけにずっと気になっていたゲームを購入しました。
GW中も寝るのを忘れるくらい熱中していて、家から出なくても全然苦ではありませんでした。PS4のモンスターハンターワールド:アイスボーンというゲームです。今も週末には離れている友人とボイスチャットをしながらゲームを楽しんでいます。(田邊)



参考サイト↓
<http://www.capcom.co.jp/monsterhunter/world/>